

～今職員が出来ること～

東日本大震災、台風12号災害など、平成23年は近年例を見ない災害が続きました。このため、当事務所からも国土交通省職員による緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣を行ったところです。

同様の災害が起こりうる今日、当事務所職員は有事に備えて、平成24年2月29日、3月1日に行われた「改正土砂法に基づく緊急調査に関わる研修」に参加しました。この研修では、台風12号災害の報告を受けたほか、天然ダムの土石流氾濫シュミレーション訓練を行いました。また、ヘリコプターに乗り込み、天然ダム形成時を想定したレーザー測距計による測定訓練を行い、有事に必要な知識の向上を図っています。



いよいよ3月。追い込みに・・・

現在、揖斐川砂防出張所では、7工事を監督しています。根尾(ねお)川筋では、敷原(しきはら)谷左岸で土砂崩落が発生(写真A)。3月末の工期末を目前に、工事内容の変更にも迫られました。エノマ谷(写真B)、日洞(ひぼら)谷(写真C)も完成に向け、後一步のところまで来ました。

揖斐(いび)川筋では、高地(たかち)谷の林道補強土壁が姿を現し(写真D)、大蔵(おぞ)谷では、法面掘削が進んでいます(写真E)。瀬戸(せと)谷では、補強土壁、重力擁壁が立ち上がり(写真F)、東前(ひがしまえ)の谷では、雪の中、流木対策施設設置工事が進んでいます(写真G)。



特集: 揖斐の山を訪ねて(第2回)

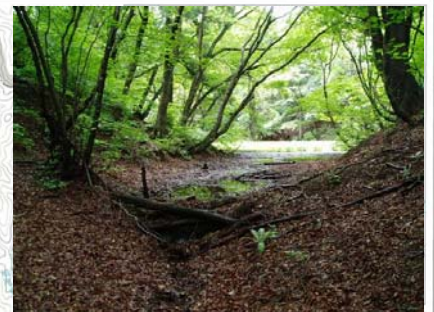
クマタカ通信では、越美山系管内の自然・歴史に親しんでいただくため、特集コーナーを組んでいます。今回は、越美山系砂防事務所管内の「山」について紹介します。

ムネ山=標高905.5m。二等三角点上野(うの)を有する。

本年度工事を行った外津汲(とつくみ)内(うち)谷砂防堰堤付近のムネ山を紹介します。

ムネ山は、揖斐川(いびがわ)町の市街地から西に望む小島(おじま)山のなだらかな山並みの北側に位置しています。この山は、あまり知られていませんが山頂付近には珍しい「古賀ヶ池(ふるかの)池」があり、祠(数年前の豪雪以降確認出来ていません)が奉られています。「古賀ヶ池」は、神秘的な雰囲気を感じられる場所です。

登山口は、揖斐川町春日六合(かすがろくごう)や上野、外津汲など幾つかあります。春日六合ルートが皆様に親しまれたルートとなっており、ハイキングなどに適した山です。付近では熊やイノシシの噂もありますので、お出かけの際は充分注意して下さい。(M.H)



古賀ヶ池



岐阜県

外津汲内谷第1砂防堰堤



祠



二等三角点上野

